



## ごあいさつ

株式会社日向中島鉄工所  
代表取締役社長

**島原 俊英**

Toshihide Shimahara

昭和44年4月に、創業者と数名の社員の思いでスタートした弊社が、地域や業界において、あてにされ、多くのお仕事をいただける存在にまで成長できたことは、時代の要請もあったかもしれませんが、これまで、会社に関わり、共に歩んできていただいた方々の思いと努力の賜物です。

50年という長きにわたり弊社に関わり、支えてくださったすべての方々に、衷心より御礼を申し上げます。これからもご期待に沿うことができるように、全社一丸となって更なる努力を続けてまいります。今後とも、よろしく願い申し上げます。

創業者島原義海が逝去した2008年の翌年に、40周年を迎えた我が社は、その後もお客様や協力企業、地域の皆様に支えられて、事業を続けてまいりました。その足跡をたどると、いかに多くの皆様の支えがあったのか、ということ、そして、その支えのおかげで、様々な挑戦をすることができたのだ、という思いを強くします。

2009年に、当時最速であったレーザー加工機の設置とISOの取得、また雇用促進事業の一環として、3DCADの導入に取り組みました。2012年には、農業関係の関連会社、ひむか野菜光房の創立とそれに関連する鮮度保持装置などの機械・装置の開発を行い、新たな事業領域の開拓にも取り組みました。2013年には、太陽光発電装置を厚生棟と工場建屋に設置し、その際に、鹿児島銀行様から環境格付け(S)の認定をいただき、社債を発行させていただきました。

2015年には、地域の視点を活用した事業活動により、地域経済の活性化や産業振興への貢献が顕著であると認められて、宮崎県中小企業大賞を受賞いたしました。創業時からお付き合いのある、地元の製糖工場である

第一糖業様、醸造業界のトップエンジニアリングメーカであるフジワラテクノアート様、日本の食鳥処理プラントをリードするゴードックスカンパニー様、日本の食肉処理場を支えるトップメーカである花木工業様などのお客様方と強固な協力関係を築き、業界を支えるものづくり企業として、事業を継続してこることができたことはこの上ない喜びです。

また、多彩なご支援を頂いている宮崎県や日向市、共同研究や技術支援を頂いている公設試験研究機関や宮崎大学、資金面や経営課題へのアドバイスを頂いている鹿児島銀行、馬服&パートナーズ税理士事務所、橋口剛和社会保険労務士、小瀬敦司法書士、経営&人材育成コンサルタントの大坪三郎先生、安全衛生や健康経営へのアドバイスを頂いている産業医水野智秀先生や、産業カウンセラー工藤智徳先生など、本当に多くの支援機関の方々にお力添えをいただき、さまざまな課題の解決に共に取り組むために、伴走をしていただいていることに感謝を申し上げます。

この間、採用と人材育成にも力を入れてきました。高卒・大卒・新卒・中途、技能実習生、大企業退職者など、多様な働き手、働き方の実現に取り組んでいます。2010年には、メンター制度を開始し、これまで以上に社員一人ひとりの成長に意識を向けました。若手の成長も著しく、現場のマネジメントクラスも若返り、部門間の協力体制をしっかりと作り、経営感覚をもって、リードをしています。

3年前から、未来プロジェクトと人事考課改定プロジェクトを立ち上げました。その目的は、経営感覚を持ち、自分たちで会社のありたい姿を描き、自らの意志と責任で会社を変えていく、そんな「自立した人が

育つ会社」をつくる、ことです。そのプロジェクトから、どんな問題にも自分事として主体的に取り組み、あきらめずにやり抜くリーダーが育ってきています。そして、その未来プロジェクトから、自発的に新たな5つのプロジェクトが立ち上がり、50周年記念の取り組みを進めてきました。

我が社が、50周年を機にさらに発展をして、地域になくはない企業であり続けるために必要なことを、一から考え、未来プロジェクトのメンバーを中心として全社員で協力して準備をしてくれました。

①ブランディング&コーポレート・アイデンティティ、②記念式典・記念誌制作、③記念旅行企画、④福利厚生、⑤社会貢献、などのプロジェクトで創り上げた新たな企業像は、これから、永く会社の歴史に残り、100年企業に向けた成長・発展の礎となることでしょう。皆さんの努力と団結力を誇りに思います。

組織全体や地域全体のことを考え、リーダーシップを発揮して、周囲や環境に良い影響を与えるとともに、自分の人生の主演として自分らしく生きる自立した社員が育ってきていることを、心から嬉しく思っています。

大阪中小企業投資育成会社様と役員・社員の皆さんに株主になっていただき、経営に対する多様な視点やチェック機能も取り入れました。そして、50周年を機に、生産性の向上と付加価値の創出をめざして、新工場建屋の建設、IOTを活用した生産・設備の管理システムの導入を行いました。IOTやAI、第4次産業革命などの、大きな社会変革に対応し、そして、その変化を創り出す体制が整ってきていると感じています。

自社の持続的発展のためには、地域や業界の活性化

が不可欠です。これまで、自社の経営のみならず、地域の仕事づくり、人づくりについて、様々な役割を担い、力を注いできたのは、そういう考えからです。一昨年、昨年と、アメリカや欧州に視察に行つて強く感じたことがあります。地域の活力を生み出すのは、地域に根ざした企業や住民の力だ、ということです。ありたい姿を明確に描いて、すべての出来事や課題を、政治や行政、経済の仕組みのせいではなく、自分事として捉え、今から、ここから、自分から、行動を起こしていかなければ、何も変わらないということです。

これまで、多くの方々と共に学び、切磋琢磨し、地域を良くするために活動をしてきました。中小企業家同友会、宮崎県工業会、ひまわり工業会、日向地区中小企業支援機構、宮崎県教育委員会などでの取り組みは、地域を担う人材やリーダーを育て、地域の経済を活性化させることと同時に、弊社が地域の資源を生かして、前に進む推進力となる地域力経営につながっています。会社と地域を守り、私たちと共に生きる大切な人々のために、そして、私たちに続く未来の世代のために、同じ志をもった皆様と共に、与えられた役割、使命を全うしていく所存です。

創業の精神を大事にすると共に、新たな理念のもとに全社員の力を結集して、新しい価値を生み出し、会社と地域の更なる発展に尽力していきたいと考えていますので、皆様方の更なる叱咤激励とご指導を賜りますように、お願い申し上げます。

平成31年4月吉日